

令和7年度

公益財団法人 いづも財団助成金交付事業

## 募 集 要 項

本財団の趣旨・目的に適合した事業を行う  
個人・団体に助成します

いづも財団は、島根県の貴重な歴史的遺産として県民生活に息づく「出雲」の歴史・文化・風土、特に、古代出雲文化の象徴たる国宝出雲大社本殿を始め地域住民の心の拠り所として健在する諸神社仏閣の保全、その周辺環境の整備及び伝統的行事の保存継承に努め、健全で潤いのある地域社会の発展に寄与することを目的に設立された財団です。

### 【募集期間】

令和7年5月1日（木）～7月31日（木）（当日消印有効）

## I 助成対象者

本財団の趣意・目的に適合する活動を行う島根県内の個人・団体に対して助成を行います。

ただし、次に該当する場合は対象外とします。

- (1) 営利を目的とした事業を行う個人・団体
- (2) 行政機関（公民館、コミュニティーセンター等を含む）

## II 助成対象事業

### 1. 「出雲」文化の探求

「出雲」を歴史文化の舞台とした古事記・日本書紀・出雲国風土記・出雲国造家文書などや古文書、民俗伝統行事、社寺の祭事・建造物・鎮守の森・門前町などの総合的学際的調査及び研究を、特に地域の視点から行い「出雲」の文化・風土の特質的を明らかにする調査・研究事業です。

注1) 「出雲」とは、狭義の出雲地域ではなく、出雲・石見・隠岐の島根県全域を含むものです。

注2) 調査・研究の成果は、刊行物、会報等で公開することを義務づけます。

### 2. 「出雲」文化の保存・継承

「出雲」という地域のなかで育まれた無形・有形の文化遺跡の保存・継承・後継者育成に関する事業で、かけがえのない文化遺産を次世代に伝えていくことを目的とします。

#### (1) 無形（民俗）文化財

それぞれの地域で行われる祭事・伝統行事の継承・育成、また、それらに関わる器物などの保存・修復整備及びそれらに関わる後継者の育成に関する事業です。

注1) 島根県内で国・県・市町村から無形（民俗）文化財の指定を受けているものを対象とします。

注2) 国・県・市町村の補助金交付の有無について、事前に関係機関に確認してください。

## (2) 有形（民俗）文化財

地域に伝えられる建造物、美術工芸品の保存・修理修復に関する事業で、文化財を保管するための設備、保管箱等の整備も含まれます。

また、国の登録有形文化財（建造物）については、外観に関する修理を行う場合に限り助成対象とします。

注1) 島根県内で国・県・市町村から有形（民俗）文化財の指定を受けており、かつ、原則として申請年度に補助金交付が予定されているものを対象とします。

注2) 島根県内に住所を有する所有者を対象とします。ただし、国の登録有形文化財（建造物）にあつては島根県外に住所を有する所有者も対象（50万円限度）とします。

注3) 史跡、名勝については対象外とします。

## 3. 伝統文化を活かした地域の活性化及び社寺林の環境整備

### (1) 伝統文化を活かした地域の活性化

「出雲」の伝統文化を基軸とし、それを活かした事業です。

### (2) 社寺林の環境整備

県内に鎮座する社寺林などのうち、歴史的・植生的に価値の高い鎮守の森を維持・保護・再生のための事業です。

## Ⅲ 助成期間

令和7年10月1日～令和9年9月30日（最長2年間）

注1) 原則として事業期間の延長は認めません。

## IV 助成金額

事業名	助成金総額	助成基準
「出雲」文化の探求	70万円	2～3件
「出雲」文化の保存・継承		
(1) 無形（民俗）文化財	150万円	5件
(2) 有形（民俗）文化財	300万円	1～2件
伝統文化を活かした地域の活性化 及び社寺林の環境整備		
(1) 伝統文化を活かした地域の活性化	80万円	2～3件
(2) 社寺林の環境整備	100万円	2～3件
合          計	700万円	

## V 応募方法

### 1. 形式審査

助成金の申請をする者は、助成金交付申請書（様式第1号）を作成し、原則としていつも財団に持参してください。必要書類の確認などの形式審査を行います。

形式審査を経ないで締切直前にメール等での申し込みはご遠慮ください。

### 2. 申請書の提出

形式審査の後、締切期限までに郵送または持参してください。

提出部数（7部）

## V 選考方法

1. 各分野の専門家からなる交付選定委員会に諮りその答申を経て、令和6年9月開催予定の理事会にて決定をします。
2. 選定の過程で、必要に応じて追加資料の提出を依頼する場合や、現地調査もしくは追加ヒアリングを行うことがあります。

## VI 決定の通知

選考結果については上記理事会終了後、書面にて申請者に通知します。なお、書類等の受け取りを事務取扱者が行う場合には、申請の際にいつも財団まで連絡ください（申請者や事務取扱者が交代された場合は、その都度、いつも財団まで連絡ください）。

## VII 助成事業者の義務等

1. 助成対象者には、助成事業終了時に実績報告書を提出していただきます。
2. 対象となった事業が、「いつも財団の助成を受けて実施された」ことを公表していただきます。公表方法についてはお問い合わせください。
3. 該当年度のすべての助成事業が終了した後に、『いつも財団助成金交付事業報告集』（B5判 2～4頁程度）に執筆していただきます。
4. 募集要項に反した場合は、助成金の返還を求める場合があります。

## VIII 申込み・お問い合わせ

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東 283 大社國学館内

公益財団法人いつも財団 Tel : 0853-31-4346

Fax : 0853-31-4348 E-mail : info@izumozaidan.or.jp

申請用紙は、「いつも財団」ホームページからダウンロードできます。

<https://izumoooyashiro.or.jp/zaidan/>



〈記載例 「出雲」文化の探求〉

助 成 金 交 付 申 請 書

令和7年6月1日

いづも財団 理事長 様

住 所 〒000-0000 ○○市○○町○○番地

電 話 00000-00-0000

申請者 大社歴史民俗研究会 会長 <sup>いづも</sup>出雲 <sup>たろう</sup>太郎 印

事務取扱者 氏 名	○○ ○○	連絡先	〒000-0000 ○○市○○町○○番地
		電話番号	00000-00-0000
		メールアドレス	***@***.**.jp

次のとおり申請します。

助成年度	令和7年度	助成金の種類	「出雲」文化の探求
助成事業の名称	『出雲大社参詣道の変遷と杵築町』の出版事業		
助成事業の目的及び内容	これまで3年間をかけて出雲大社参詣道の変遷や杵築町の推移を書籍や実地踏査により明らかにしてきたが、研究成果を多くの市民に知らせるために著書にまとめ出版する。		
いづも財団に助成金を申請した理由	本会は、会員からの会費と寄付金とで運営しているが、著書出版ともなると経費が高む。会費と寄付金、売上金だけでは予算的に出版が難しいので、貴財団からの助成を切に願います。		
助成事業の経費総額 (うち自己資金額 円)	700,000円 (自己資金額 500,000円)		
希望助成金額	200,000円		
施行場所(必要の場合)			
助成事業の着手・完了年月日(およその予定)	令和7年10月1日 ～令和8年9月30日		

添付書類 1 事業計画書 2 収支予算書 3 その他

# 『出雲大社参詣道の変遷と杵築町』の出版

## 事業計画

### 1. 事業の目的

大社歴史民俗研究会（事務局：出雲市大社町、会員30名）は、平成10年の研究会発足以来、今日まで27年の長きにわたって大社町内外の歴史、民俗などについて研究を重ねてきた。今回はこれらの研究成果を踏まえ、出雲大社参詣道の変遷と門前町の歴史文化を著書にまとめて出版し、会員はもとより広く江湖に問うことを目的とする。

### 2. 著書

- (1) 著書名 『出雲大社参詣道の変遷と杵築町』
- (2) 体裁 A5判 ソフトカバー 約120頁
- (3) 発行部数 500部（図書館等へ献本200部、販売300部）
- (4) 執筆者 大社歴史民俗研究会会員及び外部執筆者（別紙のとおり）
- (5) 編集 大社歴史民俗研究会編集部
- (6) 目次案 後述

### 3. 事業日程

- (1) 令和6年10月 第1回編集会議開催（事業計画の詳細決定）
- (2) 令和6年12月 第2回編集会議開催（執筆者の決定）  
以後、2ヶ月に1回のペースで編集会議を開催し、進捗状況の確認
- (3) 平成8年4月 原稿を印刷所に送付。その後、校正作業4回。
- (4) 平成8年7月 出版、図書館等への送付作業

### 4. 目次案

序章	プロローグ	……………	5頁
第1章	絵図・地図から見た参詣道の変遷	……………	25頁
	1 鎌倉期の参詣道		
	2 戦国期の参詣道		
	3 江戸後期の参詣道		
	4 明治期の参詣道		
	5 大正期の参詣道		

第2章 門前町杵築の発展と参詣道 …………… 40頁

1 中世の大社参詣と御供宿

- (1) 出雲地域の宗教センター杵築
- (2) 山陰地域屈指の商業都市
- (3) 御供宿と経営者たち
- (4) 遠隔地からの参詣者
- (5) 杵築法度による規制

2 出雲信仰の全国展開と参詣者の増加

- (1) 神在月と縁結び信仰
- (2) 日本勧化と出雲御師の活躍
- (3) 「講」による団体参詣者
- (4) 杵築町域の拡大と修理免歓楽街
- (5) 杵築富くじ興行とその経済効果
- (6) 出雲大社を訪れた人々

第3章 大社観光の発展と参詣道 …………… 60頁

1 大社駅舎の建設と新たな参詣道

- (1) 汽船の発達と新たな参詣道
- (2) ヘルンの来た道
- (3) 大社駅舎の建設と神門通り・駅通りの建設
- (4) 一畑電鉄の開通と神門通りの形成

2 進む観光開発

- (1) 出雲阿国を活かした観光開発
- (2) 海水浴場と稲佐浜の整備
- (3) 近代劇場の建設
- (4) 旅館・土産物店のサービス
- (5) 交通機関の発達と増えてきた観光客

(下 略)

## 『出雲大社参詣道の変遷と杵築町』の出版

### 収支予算書

#### (収入の部)

(単位：円)

費 目	金 額	備 考
会 費	150,000	5,000円×30名=150,000円
寄 付 金	50,000	10名
書籍売上代金	300,000	1,000円×300冊=300,000円
助 成 金	200,000	いつも財団から
計	700,000	

#### (支出の部)

(単位：円)

費 目	金 額	備 考
編集会議資料印刷費等	50,000	会場費、コピー代等
地図購入費	10,000	
原稿執筆料	50,000	外部執筆者10,000円×5名
書籍印刷費	560,000	いつも財団から200,000円
郵送費等	30,000	
計	700,000	

註1) 飲食費・個人所有になる書籍などの対象外経費は計上しないこと。

註2) いつも財団からの助成金を充当する費目はその旨を明記すること。

註3) 必ず経費内訳が記載された見積書を添付すること。

〈記載例 「出雲」文化の保存・継承〉  
 (1) 無形(民俗)文化財

助 成 金 交 付 申 請 書

令和7年6月1日

いづも財団 理事長 様

住 所 〒000-0000 ○○市○○町○○番地

電 話 00000-00-0000

申請者 ○○神楽保存会 会長 <sup>いづも</sup>出雲 <sup>たろう</sup>太郎 印

事務取扱者 氏 名	○○市 文化財課 ○○ ○○	連絡先	〒000-0000 ○○市○○町○○番地
		電話番号	00000-00-0000
		メールアドレス	***@***.**.jp

次のとおり申請します。

助成年度	令和7年度	助成金の種類	「出雲」文化の保存・継承
助 成 事 業 の 名 称	○○市指定無形民俗文化財○○神楽の衣装新調事業		
助成事業の目的及び内容	<p>○○市指定無形民俗文化財○○神楽の衣装が長年の使用に伴い老朽化が著しく進んでいる。          この衣装を新調することにより伝統芸能を保存・継承することを目的とする。</p>		
いづも財団に助成金を申請した理由	<p>本保存会は主として会費と公演料を財源に活動している。神楽衣装の新調には多額の費用が必要であるため、貴財団からの助成を切に願います。</p>		
助成事業の経費総額 (うち自己資金額 円)	<p>400,000円          (自己資金額 100,000円)</p>		
希 望 助 成 金 額	100,000円		
施行場所(必要の場合)			
助成事業の着手・完了年月日(およその予定)	<p>令和7年10月1日          ~令和8年9月30日</p>		

添付書類 1 事業計画書 2 収支予算書 3 その他

# 〇〇市指定無形民俗文化財〇〇神楽の衣装新調事業

## 事業計画

### 1. 文化財指定の状況

- (1) 指定  
〇〇市指定文化財（無形民俗文化財）
- (2) 指定年月日  
昭和〇〇年〇〇月〇〇日
- (3) 名称  
〇〇神楽
- (3) 所有者・保持者  
〇〇神楽保存会

### 2. 事業の概要

- ・ 〇〇神楽の由来
- ・ 活動状況
- ・ その他

### 3. 事業の内容

- (1) 品名及び数量  
神楽〇〇で使用する衣装 〇領
- (2) 事業期間  
令和7年〇月  
神楽衣装の仕様決定  
令和7年〇月  
専門業者への製作依頼  
令和7年〇月～令和8年〇月  
専門業者による製作  
令和8年〇月  
納品・検査

### 4. 現況写真

### 5. その他

# 〇〇市指定無形民俗文化財〇〇神楽の衣装新調事業

## 収支予算書

(収入の部)

(単位：円)

費 目	金 額	備 考
〇〇市補助金	200,000	
自己資金	100,000	
助成金	100,000	いづも財団から
計	400,000	

(支出の部)

(単位：円)

費 目	金 額	備 考
製作費	400,000	神楽衣装(〇領)製作費 いづも財団から100,000円
計	400,000	

註1) 飲食費・個人所有になる書籍などの対象外経費は計上しないこと。

註2) いづも財団からの助成金を充当する費目はその旨を明記すること。

註3) 必ず経費内訳が記載された見積書を添付すること。

〈記載例 「出雲」文化の保存・継承〉  
 (2) 有形(民俗)文化財

助 成 金 交 付 申 請 書

令和7年6月1日

いづも財団 理事長 様

住 所 〒000-0000 ○○市○○町○○番地

電 話 00000-00-0000

申請者 宗教法人○○寺 代表役員 <sup>いづも</sup>出雲 <sup>たろう</sup>太郎 印

事務取扱者 氏 名	○○市 文化財課 ○○ ○○	連絡先	〒000-0000 ○○市○○町○○番地
		電話番号	00000-00-0000
		メールアドレス	***@***.**.jp

次のとおり申請します。

助成年度	令和7年度	助成金の種類	「出雲」文化の保存・継承
助 成 事 業 の 名 称	重要文化財○○保存修理事業		
助成事業の目的及び内容	国の重要文化財に指定されている○○では、経年による老朽化が著しく進行している。このため、令和○～○年度の継続事業により別添保存修理工事設計書のとおりに保存修理事業を行う。		
いづも財団に助成金を申請した理由	文化庁、島根県、○○市の補助金交付が決定しているが、所有者は多額の費用が必要であるため、貴財団からの助成を切に願います。		
助成事業の経費総額 (うち自己資金額 円)	50,000,000円 (自己資金額 2,168,000円)		
希 望 助 成 金 額	2,000,000円		
施行場所(必要の場合)			
助成事業の着手・完了年月日(およその予定)	令和7年10月1日 ～令和9年9月30日		

添付書類 1 事業計画書 2 収支予算書 3 その他

# 重要文化財〇〇保存修理事業

## 事業計画

### 1. 文化財指定の状況

- (1) 指定  
重要文化財（建造物）
- (2) 指定年月日  
昭和〇〇年〇〇月〇〇日
- (3) 名称  
〇〇
- (4) 所有者・保持者  
〇〇寺

### 2. 事業の概要

別添 重要文化財〇〇保存修理工事設計書のとおり

### 3. 事業の内容

- (1) 助成対象工事  
令和〇年度から実施中の保存修理のうち、令和7～8年度に実施する〇〇〇  
工事を助成対象として申請する。
- (2) 事業執行体制  
事業執行者 宗教法人〇〇寺  
指導 文化庁、島根県、〇〇市文化財課  
設計管理 公益財団法人 文化財建造物保存技術協会

### 4. 図面、写真

### 5. その他

## 重要文化財〇〇保存修理事業

### 収支予算書

(収入の部)

(単位：円)

費 目	金 額	備 考
国庫補助金	37,500,000	
島根県補助金	4,166,000	
〇〇市補助金	4,166,000	
自己資金	2,168,000	
助成金	2,000,000	いつも財団から
計	50,000,000	

(支出の部)

(単位：円)

費 目	金 額	備 考
工事請負費	42,000,000	いつも財団から2,000,000円
委託料	7,500,000	
情報発信費	300,000	
事務費	200,000	
計	50,000,000	

註1) 飲食費・個人所有になる書籍などの対象外経費は計上しないこと。

註2) いつも財団からの助成金を充当する費目はその旨を明記すること。

註3) 必ず経費内訳が記載された見積書を添付すること。

〈記載例 伝統文化を活かした地域の活性化及び社寺林の環境整備〉

(1) 伝統文化を活かした地域の活性化

助 成 金 交 付 申 請 書

令和7年6月1日

いづも財団 理事長 様

住 所 〒000-0000 ○○市○○町○○番地

電 話 00000-00-0000

申請者 ○○神社氏子会 会長 <sup>いづも</sup>出雲 <sup>たろう</sup>太郎 印

事務取扱者 氏 名	○○ ○○	連 絡 先	〒000-00001 ○○市○○町○○番地
		電 話 番 号	00000-00-0000
		メー ル ア ド レ ス	***@***.**.jp

次のとおり申請します。

助成年度	令和7年度	助成金の種類	伝統文化を活かした地域の活性化
助 成 事 業 の 名 称	伝統行事○○○○の伝承事業		
助成事業の目的及び内容	<p>○○神社で举行される例大祭で行われる御輿行列で使用する番内の面及び衣装が経年劣化してきている。 この面、衣装を新調することにより大切な伝統行事を絶やすことなく伝承することを目的とする。</p>		
いづも財団に助成金を申請した理由	番内面や衣装の新調には多額の費用が必要であり、氏子会の負担だけでは調達できないことから、貴財団からの助成を切に願います。		
助成事業の経費総額 (うち自己資金額 円)	400,000円 (自己資金額 200,000円)		
希 望 助 成 金 額	200,000円		
施行場所 (必要の場合)			
助成事業の着手・完了年月日 (およその予定)	令和7年10月1日 ～令和8年3月31日		

添付書類 1 事業計画書 2 収支予算書 3 その他

# 伝統行事〇〇〇〇の伝承事業

## 事業計画

### 1. 事業の概要

- ・ 伝統行事の由来
- ・ 活動状況
- ・ その他

### 2. 事業の内容

#### (1) 品名及び数量

- 番内面   〇面
- 番内衣装   〇着
- 収納桐箱   〇点

#### (2) 事業期間

- 令和7年〇月  
業者への製作依頼
- 令和7年〇月～令和8年〇月  
業者による製作
- 令和8年〇月  
納品・検査

### 3. 整備後の利活用計画

### 4. 地域の活性化に期待する効果

### 5. 現況写真

### 6. その他

## 伝統行事〇〇〇〇の伝承事業

### 収支予算書

(収入の部)

(単位：円)

費 目	金 額	備 考
自 己 資 金	200,000	
助 成 金	200,000	いつも財団から
計	400,000	

(支出の部)

(単位：円)

費 目	金 額	備 考
製 作 費	400,000	番内 面 (〇面) 〇〇〇〇円 番内衣装 (〇着) 〇〇〇〇円 収納桐箱 (〇点) 〇〇〇〇円 いつも財団から 200,000 円
計	400,000	

註1) 飲食費・個人所有になる書籍などの対象外経費は計上しないこと。

註2) いつも財団からの助成金を充当する費目はその旨を明記すること。

註3) 必ず経費内訳が記載された見積書を添付すること。

〈記載例 伝統文化を活かした地域の活性化及び社寺林の環境整備〉  
 (2) 社寺林の環境整備

助 成 金 交 付 申 請 書

令和7年6月1日

いづも財団 理事長 様

住 所 〒000-0000 ○○市○○町○○番地

電 話 00000-00-0000

申請者 ○○神社氏子会 会長 <sup>いづも</sup>出雲 <sup>たろう</sup>太郎 印

事務取扱者 氏 名	○○ ○○	連 絡 先	〒000-00001 ○○市○○町○○番地
		電 話 番 号	00000-00-0000
		メー ル ア ド レ ス	***@***.**.jp

次のとおり申請します。

助成年度	令和7年度	助成金の種類	社寺林の環境整備
助 成 事 業 の 名 称	○○神社鎮守の森保存事業		
助成事業の目的及び内容	○○神社の鎮守の森を形成する樹木は近年、○○病の蔓延により著しく衰退してきた。枯損木の伐採、撤去を行うことで健全な状態に復元して将来にわたり継承していくことを目的とする。		
いづも財団に助成金を申請した理由	枯損木の伐採、撤去には多額の費用が必要であり、神社などの関係者の負担だけでは調達できないことから、貴財団からの助成を切に願います。		
助成事業の経費総額 (うち自己資金額 円)	400,000円 (自己資金額 200,000円)		
希 望 助 成 金 額	200,000円		
施行場所 (必要の場合)			
助成事業の着手・完了年月日 (およその予定)	令和7年10月1日 ～令和8年9月30日		

添付書類 1 事業計画書 2 収支予算書 3 その他

# 〇〇神社鎮守の森保存事業

## 事業計画

### 1. 事業の概要

- ・ 神社の由来及び鎮守の森の現況
- ・ 事業の目的
- ・ その他

### 2. 事業の内容

#### (1) 樹木の伐採、撤去

- ・ 業者による枯損木の伐採、撤去
- ・ 神社関係ボランティアによる雑木処理、除草

#### (2) 事業期間

令和7年〇月

業者と業務委託契約

令和7年〇月～令和8年〇月

業者による樹木の伐採、撤去

令和8年〇月

検査

### 3. 期待する効果

### 4. 現況写真

### 5. その他

# 〇〇神社鎮守の森保存事業

## 収支予算書

(収入の部)

(単位：円)

費 目	金 額	備 考
自 己 資 金	200,000	
助 成 金	200,000	いつも財団から
計	400,000	

(支出の部)

(単位：円)

費 目	金 額	備 考
枯損木伐採、撤去費	400,000	別添内訳明細書のとおり いつも財団から200,000円
計	400,000	

註1) 飲食費・個人所有になる書籍などの対象外経費は計上しないこと。

註2) いつも財団からの助成金を充当する費目はその旨を明記すること。

註3) 必ず経費内訳が記載された見積書を添付すること。